

危機管理とは

現在の社会にはさまざまな危機が存在します。地震、津波、台風など自然災害、原発事故、交通機関事故など大規模事故、殺人、詐欺などの犯罪、戦争、紛争、難民問題などの国際安全保障、情報流出、サイバー攻撃など情報セキュリティ、こうした多様な危機への対応策を構築することを危機管理と言います。

危機管理学部の理念

グローバル化した現代社会を取り巻く様々な危機と向き合い、人々の生命や生活を守る強い信念と高い志を基に、リーガルマインド（法を用いて紛争や問題を解決する能力）とリスクリテラシー（危機管理能力）とを融合させ、国民の安全、さらには世界の平和の実現に向けて問題解決を実践する人材を養成します。

危機管理学の構成

さまざまな危機に対応できる能力を身に付けることを目標としています。あらゆる危機の中から、自身の興味ある分野をわかりやすく学ぶことができるよう、「災害マネジメント領域」、「パブリックセキュリティ領域」、「グローバルセキュリティ領域」、「情報セキュリティ領域」の4つ研究領域としてまとめています。

さらに、危機に対して「リスクマネジメント」（危機の発生を未然に防止するためのマネジメント）と、「クライシスマネジメント」（発生した危機に対する事後的なマネジメント）の両面からアプローチすることによって危機管理学のスキルを修得することができます。

教育の特色

4つの研究領域からなるオールハザード・アプローチによる専門展開科目履修し、専門的な危機管理を学ぶことができます。

2年時に「行政キャリア」、「企業キャリア」のいずれかを選択し、希望する将来の進路を見据えながら履修モデルを参考に必要な科目を自由に履修できます。